

チュウヒサミット 2008 の開催

チュウヒサミットとは、国内での繁殖つがい数が 50 ペア程度とされる絶滅危惧鳥類チュウヒの繁殖地や越冬地の現状を報告しあい、チュウヒとその生息地の保全を考えるもので、2006 年 6 月 24 日(土)に初めて名古屋で開催されました。そしてそこではじめて全国各地からチュウヒの置かれている状況が報告され、その後はチュウヒの危機的状況が次第に認識されるようになり、2006 年 12 月 22 日に環境省はチュウヒを絶滅危惧 b 類にランクアップしました。

しかし、今後もチュウヒの繁殖地、越冬地、生息の情報を交換、共有していくことは重要であると考え、チュウヒサミット 2008 を下記の要領で開催することにしました。そこで今回も全国各地の状況を報告していただき、日本におけるチュウヒの生息状況と問題点をさらに明らかにしていきたいと考えています。



冬季、木曾岬干拓地に飛来する
チュウヒ雄の大陸型

2007 年 12 月 15 日撮影
(近藤義孝)

日時 6月21日(土)午後1時～午後5時 講演、報告、質疑
基調講演

渡瀬遊水池におけるチュウヒの越冬について

平野敏明(日本野鳥の会栃木県支部)

各地からの報告

なお、閉会後に交流会を開きます。

22日(日)午前 木曾岬干拓地の現地視察

場所: 名城大学天白キャンパス

名古屋市営地下鉄鶴舞線駅塩釜口 / 名城大学前下車1番出口より徒歩8分

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地

TEL(052)832-1151(代表)

主催: 日本野鳥の会三重県支部

日本野鳥の会愛知県支部

名古屋鳥類調査会

共催: (財)日本野鳥の会

後援: 名城大学野生動物問題研究会

参加費: 検討中であり、決定しだいホームページでお知らせします。

問い合わせ先:

日本野鳥の会三重県支部 近藤義孝

0594-48-3260

E-mail fwhy4368@mb.infoweb.ne.jp